

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

申請日：令和7年9月22日

①学校名：	湘南医療大学		大学(私立)	②所在地：	神奈川県横浜市戸塚区上品濃16-48	
③課程名：	保健師助産師看護師実習指導者講習会					
④正規課程／履修証明プログラム：	履修証明プログラム	⑤定員：	30名		⑥期間：	5ヵ月
⑦責任者：	看護キャリア開発コアセンター センター長 川本利恵子		⑧開設年月日：	平成27年4月1日		
⑨申請する課程の目的・概要：	厚生労働省の保健師助産師看護師実習指導者講習会実施要綱に基づいて実施してしており、保健師養成所、助産師養成所、看護師養成所の実習施設で実習指導者の任にある者、もしくは将来これらの施設の実習指導者となる予定にある者、または上記養成所において実習指導の任にある者に対して、看護基礎教育における実習の意義および実習指導者としての役割を理解し、効果的な実習指導ができるよう、必要な知識・技術を修得させることを目的としている。					
⑩10テーマへの該当	1 女性活躍	3 中小企業活性化	5 環境保全	7 医療介護 <input checked="" type="radio"/>	9 起業	
	2 地方創生	4 DX	6 就労支援	8 ビジネス等	10 防災危機管理	
⑪履修資格：	保健師、助産師、看護師の資格取得後3年程度の実務経験を有し、現在実習施設で実習指導者の任にある者、又は将来実習指導者になる予定のある者。					
⑫対象とする職業の種類：	看護師、保健師、助産師					
⑬身に付けることのできる能力：	<p>(身に付けられる知識、技術、技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護基礎教育における実習の意義及び実習指導者としての役割を理解し、効果的な実習指導をするために必要な知識 <p>(得られる能力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護基礎教育における臨地実習の意義を理解し実習指導者の役割を探求する能力 ・実習指導の内容と効果的な指導方法を考察する能力 					
⑭教育課程：	<p>厚生労働省が定める保健師助産師看護師実習指導者講習会実施要綱に基づいて実施している。 教科目は、基礎分野と専門分野の2つの区分がある。 基礎分野では、教育の基盤について「教育原理」「教育方法」「教育心理」「教育評価」の科目を学習し、教育に関する基本的知識および必要な理論について修得する。</p> <p>専門分野の「看護論」では、看護の機能と役割、看護場面と看護観の再構成、倫理的課題とその対応方法、看護観の醸成について講義および演習を通して学び、人間の健康、看護の考え方を多角的に学び、看護について視野を広げ、自己の看護観を明確にする修得する。</p> <p>専門分野の「看護教育課程論」では、教育課程の基礎知識、教育課程における実習の位置づけ、実習指導計画・指導案作成方法について講義および演習を通して学び、実習指導につなげる。</p> <p>専門分野の「実習指導方法論」では、実習指導の方法、学生の安全確保、実習における連携・調整、教育評価の概要、実習における目的と評価について講義および演習を通して学び、実習指導案について理解し、教授方法を修得する。</p> <p>専門分野の「実習指導方法演習」では、実習指導の計画立案、臨地実習指導の実際について講義、演習、実習、発表を通して学び、看護基礎教育における臨地実習の意義をふまえ、領域に応じた指導案を作成する修得する。</p>					
⑮修了要件(修了授業時数等)：	<p>下記の要件を全て満たしていること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)各科目の所定時間数の5分の4以上出席していること 2)指定期間内にeラーニング科目の履修認定テストに合格していること 3)受講態度が良好であること 					

⑯修了時に付与される学位・資格等:	保健師助産師看護師実習指導者講習会修了証書および履修証明書が付与される。					
⑰総授業時数:	183	時間	⑮要件該当授業時数:	123	時間	⑯要件該当授業時数／総授業時数:
⑯該当要件	企業等	双方向	<input checked="" type="radio"/>	実務家	<input checked="" type="radio"/>	実地
⑰成績評価の方法:	<p>eラーニング内試験、出席時間、受講態度、演習への参加状況、発表内容等を総合的に判断して成績評価を行う。 詳細は様式2別添「受講要綱」P7～P18を参照のこと。</p>					
⑲自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。理事長も出席する看護キャリア開発コアセンター会議において、当課程の受講計画や開催状況、成果について検証し、評価を行う。また、当該検証・評価結果については本学ホームページにおいて公表する。					
⑳修了者の状況に係る効果検証の方法:	修了者に対し、当課程に対するアンケートを実施する。					
㉑企業等の意見を取り入れる仕組み:	<p>(教育課程の編成) 看護キャリア開発コアセンター運営委員会において、教育課程の編成について意見を取り入れている。 また外部機関の理事が構成員として加わる理事長会議にて、その意見について審議し必要な修正を行っている。</p> <p>(自己点検・評価) 看護キャリア開発コアセンター運営委員会において、教育課程の自己点検・評価を行っている。 また外部機関の理事が構成員として加わる理事長会議にて、その内容について審議し必要な修正を行っている。 加えて、講習会終了後に厚生労働省へ実施状況報告書を提出している。</p>					
㉒社会人が受講しやすい工夫:	eラーニングによる自己学習を取り入れることで、社会人が受講しやすい工夫を行っている。					
㉓ホームページ:	https://sums.ac.jp/html/antc/					